



紀宝町

議会だより

第48号

令和元年 6月1日 発行



議 会 日 誌

平成31年 1月～ 3月

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1月 2日 成人式 | 2月 24日 第13回社協つれもてまつり |
| 3日 出初式 | 25日 紀南環境衛生施設事務組合議会定例会（新宮市） |
| 10日 放デイほたる説明会・内覧会 | 三重県町村議会議長会理事会（津市） |
| 15日 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 27日 教育民生常任委員会 |
| 17日 河川法の改正を求める要望活動（大阪市他） | 28日 第1回紀宝町議会定例会 第1日目 |
| 29日 熊野川流域対策連合会理事会及び臨時総会（新宮市） | 3月 5日 鶴殿小学校大規模改修工事竣工式 |
| 2月 3日 第5回元気やで！浅里なれ寿しまつり | 近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 |
| 4日 熊野・南郡正副議長会（御浜町） | 11日 第1回紀宝町議会定例会 第2日目 |
| 5日 京都府大山崎町議会総務産業常任委員会視察研修 | 12日 第1回紀宝町議会定例会 第3日目 |
| 14日 議員懇談会 | 13日 第1回紀宝町議会定例会 第4日目 |
| 15日 第1回紀宝町議会臨時会 | 16日 三重県自衛隊入隊・入校予定者激励会（津市） |
| 議会運営委員会 | 19日 紀南介護保険広域連合議会定例会（熊野市） |
| 19日 うどの幼稚園大規模改修工事竣工式 | 28日 紀南病院組合議会定例会（御浜町） |
| 議会運営委員会 | 南牟婁清掃施設組合議会（御浜町） |
| 全員協議会 | 29日 成川地区高台整備竣工式 |

13人の新体制で動きだす

議員改選後、初めての臨時会が2月15日に開かれました。

この臨時会で、議員による選挙の結果、議長に莊司 健議員、副議長に山本精一議員がそれぞれ選ばれました。常任委員会委員なども選出され、13人の新体制で議会が動き出しました。議員任期は平成31年2月10日から令和5年2月9日までの4年間です。

議長就任のあいさつ



莊司 健

町民の皆様には、町政並びに議会活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、1月の町議会議員選挙を経て開催された、第一回臨時会において議長に選任され、その責任の重さに身の引き締まる思いで日々努めております。

微力ではございますが、議会の役割を十分認識し、公平公正かつ活発な議会を目指してまいります。

皆様方の、一層のご指導ご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

議会構成

改選後、2月15日に行われました臨時会では、常任委員会委員や議会運営委員会委員、6つの特別委員会委員、2つの一部事務組合議会議員、紀南介護保険広域連合議会議員が選出されました。また新たに、議会議員定数及び報酬調査特別委員会が設置されました。

各委員等は、次のとおりです。

(委員長、副委員長以下は、議席順)

議長 莊司 健 副議長 山本 精一

■常任委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◆総務産業

◎榎本 健治 ○萩野 進也 平野美津子
山本 精一 瀬越 幸雄 奥峪 康之

◆教育民生

◎市川 潔 ○浅田 和江 平野美津子
向井 健雅 野田 純志 大倉 孝司
原 章三

■議会運営委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◎向井 健雅 ○榎本 健治 市川 潔
萩野 進也

■特別委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◆熊野川流域対策

◎榎本 健治 ○山本 精一 平野美津子
大倉 孝司 原 章三 奥峪 康之
浅田 和江

議員 紹 介 (議席順)



1: 榎本 健治
えのもと けんじ
井田 (42歳)
無 所 属



2: 平野美津子
ひらの みつこ
鵜殿 (72歳)
無 所 属



3: 向井健雅
むかい たけまさ
阪松原 (64歳)
無 所 属



4: 山本精一
やまもと せいいち
鵜殿 (62歳)
無 所 属



5: 瀬越幸男
おごし ゆきお
大里 (64歳)
無 所 属



6: 野田純志
の だ じゆんし
鵜殿 (71歳)
無 所 属



7: 大倉孝司
おおくら たかし
鵜殿 (60歳)
無 所 属



8: 原 章三
はら しょうぞう
大里 (72歳)
日本共産党



9: 奥峪康之
おくさこ やすゆき
鵜殿 (61歳)
無 所 属



10: 市川 潔
いちかわ きよし
鵜殿 (71歳)
無 所 属



11: 萩野進也
はぎの しんや
井田 (65歳)
無 所 属



12: 浅田和江
あさだ かずえ
神内 (47歳)
無 所 属



13: 莊司 健
しょうじ たけし
北松原 (71歳)
無 所 属

令和元年5月1日現在

- ◆ 港湾・井田海岸浸食対策
 - ◎ 山本 精一 ○ 萩野 進也
 - 野田 純志 大倉 孝司
 - 奥峪 康之
- ◆ 環境保全対策
 - ◎ 市川 潔 ○ 浅田 和江
 - 向井 健雅 瀬越 幸雄
 - 萩野 進也
- ◆ 近畿自動車道紀勢線建設
 - ◎ 榎本 健治 ○ 向井 健雅
 - 山本 精一 瀬越 幸雄
 - 大倉 孝司 原 章三
 - 市川 潔 萩野 進也
- ◆ 地方創生まちづくり
 - ◎ 萩野 進也 ○ 浅田 和江
 - 平野美津子 向井 健雅
 - 瀬越 幸雄 野田 純志
 - 原 章三 奥峪 康之
- ◆ 議会議員定数及び報酬調査
 - ◎ 向井 健雅 ○ 市川 潔
 - 平野美津子 山本 精一
 - 野田 純志 大倉 孝司
 - 奥峪 康之 萩野 進也
- ◆ 一部事務組合議会議員
 - 浅田 和江
 - 原 章三
 - 萩野 進也
- ◆ 紀南環境衛生施設事務組合
 - 向井 健雅
 - 浅田 和江
- ◆ 紀南病院組合
 - 榎本 健治
 - 市川 潔
- ◆ 紀南介護保険広域連合議会議員
 - 平野美津子 原 章三
 - 萩野 進也

新宮紀宝道路

- ・新宮紀宝道路(近畿自動車道紀勢線)
- ・保育所、小中学校の統廃合について

他

向井 健雅 議員



平成31年第1回紀宝町議会定例会は、2月28日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員長報告、一部事務組合議会議員報告を行い、続いて町長から、新年度大綱説明及び第4回定例会以降の行政報告がありました。その後、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任、条例の制定、条例の一部改正、工事請負契約の変更、補正予算など14件の議案を原案通り可決しました。

第2日目の3月11日から第4日目の3月13日には一般質問が行われ、7人の議員が質問に立ち、諸課題について、当局の取り組みと考え方を質しました。一般質問終了後、平成31年度一般会計予算、平成31年度特別会計予算(6会計)、人権擁護委員の推薦、意見書を可決して閉会しました。

産業基盤整備担当理事

未事業化区間の今後の要望ということで、かねてから要望を実施していただいた未事業化区間の事業化につきましても、3月1日、近畿自動車道紀勢線の未事業化区間として残る熊野市久生屋町〜紀宝町神内間、約16kmが一般国道42号紀宝熊野道路として、また新宮市あけぼの〜三輪崎間の約5kmが一般国道42号新宮道路として、平成31年度予算に向けた新規事業候補箇所の手続きを開始することが国土交通省より発表されており、

町長

本当に地権者の皆さま方の、この道路に対する厚いご理解とご支援を賜わりまして、改めて地権者の皆さま方に感謝を申し上げます。こういったふうにあります。これから地権者の皆さま方、また地域の近隣の皆さま方にも、ご理解をいただく中で着実に工事を進めていきたいと思っております。

産業基盤整備担当理事

8年前には東日本大震災が発生し、また当町においても千軒という家屋浸水の被害が出てございます。新宮紀宝道路、近畿自動車道紀勢線ということで、当時橋だけの要望から近畿を繋ぐというような方向になったわけですが、それについては、東北の震災においても道路が本来に命を助けたというようなことがございます。まず用地交渉の進捗について再度お尋ねいたします。

議員

用地交渉の進捗状況についてでありますが、三重県近畿道紀勢線推進プロジェクトチームが用地買収を行っておりまして、地権者の皆さまの多大なご理解とご協力をいただき、2月28日現在の契約状況は、道路予定地250筆中、233筆と伺っております。

議員

県においては、緊縮財政という中で、プロジェクトチームを組んでいただいたということと、全国に先駆

けて事前調査をやっていたということ、これだけのスピード感を持って用地買収が成立してきたということでございます。一番は用地の地権者さんの協力があることでございます。スピード感を持って辿り着いたということは、本当に我々としても喜ばしいというふうにも思っております。

次に、未事業化区間の今後の要望についてでございますが、町長の見解をお伺いしたいと思います。

保育所、小中学校の統廃合

議員

保育所、小中学校の統廃合については地域のコミュニティという問題もございませぬが、一番考えなければいけないのは、子どもにとって何が一番いいのかってところが一番大切だというふうに思っております。子どもにとって何が一番大切なのか、教育長にお尋ねします。

教育長

学校教育と地域コミュニティという2つの視点から、やはり継続的に慎重に議論を重ねていくべき課題として考えております。平成30年度からは、全ての小中学校に設置しました学校運営協議会等で、地域関係者の皆さま、それから保護者、教員が共に、子どもの教育を考える中で慎重に議論を進めております。

議員

地域を含めての議論が大切になってくるんじゃないかなと思います。昨年も申したように、全国学力調査が全国レ

ベルを上回ったというのは、本当に現場の先生方、そして教育委員会、その他関係者の努力のあらわれであろうと思えますし、一番喜んだのは子どもたち自身じゃないかなという思いもございませぬ。

団体競技が、ひとつの学校で組めないというような人数は、ちよつとじゃないかなというふうな思いもございませぬ。統廃合というのは真剣に考えていかなければならないというふうにも思っております。

第一次産業を守る為の対策

議員

獣害対策における補助事業の制度設計の在り方について、国、県に対して見直しを要望する考えがないのか。

産業建設課参事

当町の獣害対策の取り組みにつきましては、平成12年度から県単事業による侵入防止柵の設置等による取り組み、平成16年度からは国の強い農

業づくり交付金事業を活用し、侵入防止柵の実証試験等を含めた獣害柵の設置を行ってまいりました。

平成20年2月には、鳥獣による農林水産業等に係る被害防止のための特別措置に関する法律が施行されました。国から、鳥獣被害防止総合対策交付金として、市町村等が作成する被害防止計画に基づき、市町村及び市町村の協議会が実施する、侵入防止柵の設置や有害鳥獣捕獲、箱罟の購入、獣害研修会等の開催等、被害防止活動に係る補助があり、本町でも平成20年4月に紀宝町鳥獣害防止総合対策協議会を設立し、現行の国の補助事業を活用し、農作物等への被害軽減に取り組んでいるところであります。

要件緩和等、また国・県に対して要望していきたいと考えております。

議員

当町においては、他町に比べて早く対策をやってきた関係上、どうしても耐用年数という問題があります。当局の方でこれからも出来る限り努力をしていただきたい。



榎本 健治 議員

・平成のその先の新たな時代へ、御代替わりに伴う行政の対応について
他

新宮紀宝道路

議員

新宮紀宝道路の用地進捗状況と、代替地の進捗状況をお伺いします。

産業基盤整備担当理事

用地進捗状況につきましては、道路予定地250筆、そのうち契約済みが233筆となり筆数では約93%、面積では95%強の取得率であります。代替地につきましては、町において47区画の代替地を用意し、その中の16区画について申し込みをいただいで

る状況であります。

議員

新宮紀宝道路のインターを活用した地域振興と道路の完成に併せて市街地域の活性化と、なかよし公園に代わる新規の公園整備の進捗をお伺いします。

企画調整課長

紀伊半島一周が高速道路で結ばれますと、大都市からの流入人口の増加が期待されます。ひとつの方策として、インターチェンジ周辺で、気軽に立ち寄って旅の疲れを癒していただく、そして地元の産品の販売など、地域の経済の発展や活性化に繋がる施設の整備を検討しております。

また、なかよし広場の代替えとして、子どもたちが、ゆったりと過ごせ楽しめる、住民の憩いの場としての公園も併せて整備することで、相乗効果が得られるものと考えておりますので、新宮紀宝道路の完成及び供用開始時期を考慮しながら検討してまいりたいと思っております。

行政の対応

議員

10連休で保育施設や病院、

ごみ収集など、各課でどのような影響があるのか。またその対応についてお伺いします。

政策担当理事

ゴミ収集等につきましては、10連休のうち4日目の4月30日(火)、さらに7日目の5月3日(金)、この2日間は休日ではありませんが、燃料ゴミの収集を予定し、住民の皆様の日常生活に支障がないように努めてまいります。

健康福祉担当理事

保育所業務につきましては、10連休初日の4月27日(土)は、通常の土曜保育を予定しております。その後につきましては、ファミリーサポートセンターにおいて、保護者の病気や冠婚葬祭など緊急的な預かりに対応していく必要があると考えております。

健康づくり推進課長

紀南病院と新宮市立医療センターでは通常の土日祝日と同じく休診で、救急患者の受け入れのみ対応と伺っております。

また相野谷診療所も外来診療は休診とさせていただきます。

きますが、5月1日のみ医師と看護師が出勤し、宝寿園の回診、臨時往診を行うほか、希望がありましたら診察をお断りしないとしております。

鵜殿保育所建替

議員

昭和54年に建設された鵜殿保育所の建替え方針が示されていますが、今年度の進捗状況をお伺いいたします。

健康福祉担当理事

平成30年度を初年度として、用地買収、造成、建築等の3か年による計画を説明させていただきましたが、その後候補地の権利者各位と事業の趣旨や必要性なども含め誠心誠意交渉を行ってまいりましたが、ご理解を得ることができず、改めて候補地の検討も含め用地の確定に向けて努力をしまいたいと考えております。

0歳児保育

議員

次に、0歳児保育についてのニーズと整備についてお伺いします。

健康福祉担当理事

鵜殿保育所におきましては、0歳児保育に必要な育児室の整備がないため、現在設備対応できる飯盛・成川両保育所に対応いただいているのが現状であります。

今後の園児数の推移や保育ニーズの多様化等を含めて、改修整備を行ってまいりたいと考えております。

児童虐待防止

議員

児童虐待防止について、千葉県野田市で10歳の女児が犠牲になるとい痛ましい虐待事件が発生し、当町でも決して起こしてはいけない痛ましい事故だという論点に立ち、当町での取り組みや関係機関

との連携をお伺いします。

福祉課参事

児童虐待防止に向け、発生予防から早期発見・早期対応、さらには虐待を受けた子どもの保護・自立支援に至るまで、切れ目のない総合的な支援体制を整備・充実していくことが必要と思います。児童虐待の未然防止には、より早い段階から支援を行うことや、ポピュレーションアプローチの観点が必要であると考えます。

教育課長

学校等におきましては、児童虐待の早期発見・早期対応に努め、市町村や児童相談所等に通告・情報提供を速やかに行うこと。虐待通告の場合におきましては、通告者と虐待を行っている者との関係等を踏まえ、守秘義務の遵守を含め秘匿等に十分配慮して対応すること。また保護者による威圧的な要求や暴力の行使等が予想される場合、幼稚園・学校・教育委員会は児童相談所や警察等の関係機関や弁護士等の専門家と速やかに情報を共有し、連携して対応するなど、徹底して対応していくことを確認してございます。

議員

体罰等の虐待事案は、紀宝町ではどれくらい相談が寄せられているのか。

福祉課参事

虐待に関して、紀宝町で平成27年度は合計で5件、うち身体的虐待が4件、ネグレクトが1件。平成28年度は合計で15件、身体的虐待が13件、ネグレクトが2件。平成29年度は合計で15件、身体的虐待7件、心理的虐待が4件、ネグレクトが4件。平成30年度は合計で21件、うち身体的虐待が6件、心理的虐待が11件、ネグレクトが4件でございます。

幼児教育の無償化

議員

10月開始予定の幼児教育の無償化について、当町ではどのようになるのか。

健康福祉担当理事

保育所は、本年10月1日から3歳から5歳までの子どもたちの保育所の利用料が無償化されます。0歳児から2歳

児については、住民税非課税世帯を対象として無償化が実施されます。

議員

通園めだかとか、ファミサポも対象になってくるのか。

健康福祉担当理事

ファミサポそれから発達支援センターも同様の保育が必要であるという前提の中では、対象になると通知が来ています。



原 章二 議員

- ・国民健康保険料（税）について
- ・学校給食の無償化と助成制度について

他

国民健康保険税

議員

高すぎる国保については、全国的に大きな問題となっています。紀宝町でも平成23年度から毎年0.2%の値上げを実施してきましたが、当町の加入世帯と滞納状況についてはどうなっていますか。

健康福祉担当理事

30年12月現在で1968世帯、3142人となっております。

住民サービス担当理事

平成30年度では、1月末現在において、滞納繰越額が9292万4180円で、収入済額955万9940円、収入未済額は8336万4240円となっております。

議員

保険料の特に均等割については、子どもの数が増えるほど保険料が高くなる仕組みになっていきます。例えば夫、妻、子ども2人の4人世帯。40歳未満で夫の年収が400万円、持ち家で固定資産税がかかる場合、協会けんぽでは年額20万1960円、国保では35万8700円となっております。年額15万6740円の差が出ています。全国知事会でもこの問題について、

国費で1兆円を投入し、協会けんぽ並みに引き下げることを求めています。当町でも一般会計から法定外繰入で4600万円を国保会計に入れていますが、その後また一般会計に戻す方法をとっております。

その結果、国保基金は1200万円ほどしかないという状況です。これらを解決するには毎年一定額を国保基金として積み立て、加入者の救済措置をとるべきではないか。

町長

国保税については極力低くなるような形で、運営努力してまいりたいと考えています。

学校給食の無償化

議員

文科省は、29年度学校給食無償化について実施調査を行った結果、82の自治体で無償化を行っており、24の自治体で一部助成を行っています。また無償化実施に至った経緯につ

ては、首長の意向がトップとなっております。当町でも子育て支援、少子化対策の面からも無償化について考えるべきではないか。また子供の貧困問題においても、全国的に深刻化しており、栄養摂取の面でも年収600万円以上の世帯と比べ、年収200万円以下の世帯では果物や肉類の摂取が少ないと言われています。さらに、教育にかかると負担が給食費も含め小学校で9万7千円、中学校で16万7千円、そのほか郊外活動にかかると費用の総額が小学校で30万円、中学校で45万円と負担が多くなっています。今後の課題として、無償化は避けられない道であり、是非進めていただきたい。

町長

無償化については、今日の経済状況を考えると非常に厳しい面もあります。貧困世帯と就学支援対象のお子さんにはしっかりと対応させていた大きながら、今後十分検討してまいりたいと考えます。

議員

幼児教育の無償化については、今年の10月から実施されます。財源は消費税に頼り、給食費の保護者負担が残るなどの多くの問題があります。当町での給食費は、幼稚園では17日間で4420円、保育所では21日間で7560円となっておりますが、これらをどのように解決するのか。

健康福祉担当理事

保育所では、3歳児から5歳児までの給食費については保育料に含まれております。0歳児におきましては、低所得者には無償化となっております。今後徴収方法については協議しながら進めていきたい。

教育課長

幼稚園では、今後も一食当たり260円で進めていく方向です。

議員

国の無償化案では、公立幼稚園や保育所の場合の財源はすべて町の負担となっているが、国が半分、県負担が4分の1、町負担が4分の1とすべきではないか。

幼児教育、保育の無償化

屋外トイレ改修

議員

田代公園については、グラウンドゴルフをやってもらえる方から、トイレを洋式化してほしいとの要望が出ています。また資料館屋外トイレについても同様の要望が出ておりますが、いかがでしょうか。

住民サービス担当理事

既設のトイレにつきましては、便器の取替えや水洗化、給排水設備の改修を行い、さらに既設トイレの隣りに木造の多目的トイレ一棟を新設できないかと考えております。

教育課長

教育委員会としては和式トイレを洋式化する方向で進めております。資料館についても検討してまいります。

相野川堆積土砂の撤去

議員

大里地内の跡田橋上流の跡田川と相野川の合流地点、相野川上流においては堆積土砂が多く、河川氾濫の要因とも

なっております。撤去を求めます。

産業基盤整備担当理事

町で現地調査を行い県に要望したところ、31年度において、片川橋から、議員ご指摘の跡田川合流地点の間で、堆積している箇所を優先的に撤去したいとのことでありま

下流堆積砂利と流域県道の危険性

議員

浅里地区、飛雪の滝下流域の堆積砂利については、地元住民から「豪雨の度に県道が壊れないか心配」といった不安の声が寄せられています。県道が壊れれば浅里地区が孤立する恐れがあり、防災対策として砂利撤去を実施してほしいのとです。県河川管理者に撤去するよう要望します。

産業基盤整備担当理事

31年度におきましては、3万立方メートルの土砂撤去を見込んでいるとのことであり、引き続き、地区の意見もお聞きしながら県に対し要望を行っていききたいと考えております。



議員 幸男 瀬越

・町道相野口永田線の安全対策について
・相野谷川護岸工事について

他

町道相野口永田線

議員

初めまして、瀬越です。皆さんのご期待に添えるよう頑張りたいと思います。

町道相野口永田線の改良工事、全体計画が高岡明和橋から

大里永田相川橋の間2080mあり、残り500mと伺っています。平成18年度〜28年度、工事費が3千万円〜4千万円と、また施工延長も年間200m程度で推移していたが、この2年間は約2千万円に減少し、施工延長も100m、90mに

なっております。このままいくと、全線完成までに6・7年の年月が費やされるのではと、地元は危惧をしております。

近年、県道熊野鶴殿線の整備が進み、交通量も年々増える上、紀南電工様が井内工業団地に移転する計画があり、車両が増加すると見込まれます。大里自然プールに大勢の子ども達が近隣からやってきました。子どもたちの安全のため、歩道が整備された道路を早く完成していただきたい。

産業基盤整備担当理事

相野口永田線は、通学者や付近歩行者などが安全に利用できない状況であったため、歩道施設の整備を行い、安全・安心を確保するため、平成18年度から整備に着手しました。残りの未整備区間は約560メートルで、事業費が約1億7千万円程度かかる見込みです。年々、交付金事業については、要望額に対して内示額が減少しており、ここ数年は施工規模を縮小し、90m程、金額ベースでいきますと2千万円台で進めています。

議員

相野口永田線は、国道42号のバイパスの役割も果たしています。また最近、南海トラフ大地震が発生した際、国道42号が通行不可になる可能性が高く、このとき活用できるのは、相野口永田線が唯一のバイパスの役割を果たします。安心安全のため、早期実現が望まれます。

紀勢線が金山地区にインターが出来て、さらに交通量の増加が予想されます。そのため交通安全対策が必要となります。

特に危険性が高まると思われる相野口永田線と鶴殿熊野線の交差点、岡下商店様の正面に信号機を設置していただきたい。

総務担当理事

信号機等については過去にも要望があり、紀宝警察署といろいろと検討した経過があります。そのときの警察署の考え方は、現在のところ交通量がまだ少ない、予算的なことも含めて今後の推移を見て考えていきたいとのことでした。交通状況等を踏まえて、今後警察とも協議しながら対応・検討していきたい。

議員

あとは残りの600mの区間が未舗装のままです。草が茂ると、車道の方へ覆うため危険です。その600mの区間を一括で仮舗装し、草が生えないようにしていただきたい。今までの工事は単年度毎に施工区間のみ仮舗装していますが、31年度の計画の時に、一括で舗装したら草も生えず、安全上よいのではないかと。

相野谷川護岸工事

議員

2点目の相野谷川の護岸工事について、大里自然プールから相野谷川橋の間約300mほどが三重県の河川管理です。一昨年や8年前の台風の時にも決壊しています。県工事において災害復旧が行われておりますが、また再び決壊するのではないかと、農家や地元住民が心配しております。この区間、新たに強固な護岸工事を県に対して、要望していただきたい。

産業基盤整備担当理事

相野谷橋から平野橋間の相

野谷川左岸の未整備区間が約150mあり、毎年、三重県に対し県管理河川の護岸整備や河床掘削など治水対策について要望を行っています。県では、総合的に判断しながら順次整備を進めると伺っています。

また相野谷川の平野橋上下流は、平成23年の紀伊半島大水害以後、大雨等の出水時には水位が上昇する傾向があり、平成27年～30年度まで毎年河床掘削を行い、通水断面を確保している状況です。

今後県に対して、護岸整備、また通水断面を確保のため堆積土砂の撤去を要望していきます。

議員

ぜひ、引き続き県へ強く要望することを期待します。国管理の相野谷川の護岸工事です。鮎田地区の左岸の改修と、右岸工事が未整備になっております。このことについて、町長も要望してくれているのでしょうか。

産業基盤整備担当理事

議員ご指摘の国直轄管理区間である鮎田地区の左岸につきましては、護岸未整備区間が約1kmあります。毎年、国

に対し、早期に計画策定、着手いただけるよう要望を行っています。

引き続き、県に対して治水対策の要望を行ってまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

議員

この相野谷川の河川改修は、あと少しのところでは止まっている状況ですが、8年前の台風時に大きな災害がでたが、当初の計画の見直しは考えていないのでしょうか。

産業基盤整備担当理事

熊野川の河川整備基本方針、また河川整備計画につきましては、現在は1万9千トンで整備がなされてきました。紀伊半島大水害の際には2万4千トンの水が流れたというところで、近隣、新宮川水系の協議会等で河川整備方針、また整備計画の見直しについて国に強く要望しています。支川である相野谷川の整備計画は、本川の整備計画が出てから検討がなされていくと考えております。

議員

町道相野口永田線がだんだん沈下し、川の方へ傾いています。谷地地区の入り口の、

ちようど一番川に近いところあたりが、特に落ち込んでいます。あれは根本的に護岸から直さないと、町道では対応が難しいのではと思う。災害

による陥没が起きる前に、相野谷川の河川改修していただくことを要望し、私の一般質問を終わらせていただきます。





山本 精一 議員

・今後の紀宝町の財政 基盤等について

財政 基盤

議員

このたび近畿自動車道紀勢線が全線事業化に向けた手続きが開始され、推進議員として、歓喜の思いでございませう。また事業化に向けて、ご尽力をいただいた皆さまには深く感謝いたします。

それでは、今後の紀宝町の財政基盤等について、合併時の平成17年度、22年度、28年度の一般会計決算による財政状況等を述べたいと思いま

す。

17年度決算によると、地方債残高の62%が国から交付税で補填される額で37億5073万7千円、地方債残高の38%が町負担分で22億9883万9千円、基金は3億400万6千円となっています。基金から町負担の地方債を引くと19億9483万3千円の赤字で、当時の人口が1万2897人ですので、一人当たりになると15万5千円となる多額の財政赤字を抱えての始まりです。こうなると、何をす

るにも住民負担になります。平成22年度決算は、地方債残高73億9824万1千円。そのうち国から交付税で補填される額は73.1%の54億769万2千円です。町負担地方債残高は26.9%の19億9050万9千円、町基金が23億1286万3千円となっています。町基金から町負担の地方債残高を引きますと、3億2235万4千円の黒字となり、当時の人口が1万2130人で一人当たり2万7千円となり、5年をかけて財政赤字を解消しています。合併時に台風12号が襲来していたら、大変なことになったので

はないかと思えます。

続いて、28年度決算の地方債残高は80億1459万7千円、このうち国から交付税で補填される額が76%の61億7619万1千円、町負担地方債残高は24%の18億3840万6千円、町基金が36億8150万4千円で、町基金から町負担地方債残高を引きますと、18億4309万8千円の黒字で、28年度末人口が1万1301人で一人当たり16万3千円になります。

合併当初、一人当たり15万円の赤字だったものが、今は16万円の黒字になっています。また、注目して欲しい点は、紀宝町は借金するにも交付税措置率の良いものを利用したということとです。60億円の時には町負担が22億9千万円、80億円の時は、町負担が18億3千万円で、借金が減っても、返済額は4億6千万減っている状態です。紀宝町は借金で大変だと思っている町民の方がおられますが、私に分かりやすく説明するため、身近な住宅ローンに例え、国を親、町を子に見立てていつも話しています。子がローンで一千万円の家を買います

が、親が子に300万円を貯めておくようにと言って、ローンの700万円を親が肩代わりしてくれました。その後、子が300万円貯めたらローンを完済できます。それが今の紀宝町です。それより貯まったら剰余金です。こう説明すると、皆さん理解してくれそうです。今後、紀宝町の財政基盤を順調に推移させるため、効率的な財政運営と、将来に渡って持続可能な財政基盤をどう構築していくのか、合併時の思いも加え聞かせてください。

町長

当初は3億円程度でスタートしたので、財政問題は喫緊の課題で、財政を立て直し、町民の皆さまが安心できる体制を作っていくことが第一でした。そのための行財政改革の取り組みを進め、議員の皆さまに大いに議論をしていただき、予算についてお認めいただきますが、5年後に黒字転換し、基金も3億円から23億円になりました。行財政改革に取り組むということは、町民の皆さまにご負担を強いられることになりましたが、皆様

のご理解とご支援をいただくなかで、今般の状況となりました。

23年には、紀伊半島大水害により、被災された皆様にはご苦労をおかけし、大変な思いのなかで今日まで復旧にあたってこられたと思っております。災害への対応にしております。災害への対応にしております。要るものがないと非常に厳しい状況になります。当時、紀宝町には、16、17億円程度の財政調整基金があり、全てを使っても、町民の皆様の生命・財産・生活を支える体制をとるために、この基金をほとんど使ってしまった。それが迅速に対応できるということであり、私は他の市町に負けない速さで、支援に当たることができたと思っております。これらは、国・県の災害復旧の様々な支援もありますので、後から還元されるものもありますが、当面の対策については、やはり持つものを持っていなければ対応できなかつたため、町民の皆様、議会の皆様のご理解をいただくなかで基金等によってしっかりと支えることができましたことで、私も大変うれしく思っております。これか

らも財政運営上、緊急時に必要な財源はしっかりと残しておく必要があると改めて感じたところでした。

確かに借金といいますが、起債は80億1千万円で、年々増えておりますが、76%の61億7千万円が国からの補助となりますので、町の実際の負担が18億3千万円となります。現在の基金は36億円近くありますので、全て返済しても、十分お釣りがくる状況です。財政的には節約するところは節約し、投資するところについてはしっかりと投資をするなかで、町民の皆様の生活を支える社会資本整備を進めることが大事と思っております。

紀宝町には396億円の公共資産がありますが、紀宝町の財産として子や孫に引き継ぐべく、これからもしっかりと町民の皆様がこの住み慣れた地域で、安心して安全で、いつまでもこの紀宝町で住み続けたいと思ってくれるような、町政・財政運営を推進することが大事だと思っております。



浅田 和江 議員

・トラブル（失敗）が発生した時の対処について

トラブル時の体制

議員

何かトラブルが発生した場合、職場内での報告体制について、どのようなようになっておりますでしょうか。

総務担当理事

まず大事なものは、なぜそうなったかという原因の特定をしっかりとやり、そのうえで内容等を把握し、課内で当然情報共有もしくは庁舎内で情報共有して、対処の対策方法をしたようにするか検討をして、迅速に解決できるように

対応を行っていきます。当然ながらご迷惑をかけた方には、直ちに謝罪を行うことが大事だと思っております。

議員

その起こったことに対して管理者まで上がっていく、例えばレポート形式や口頭で報告するというような決まりと

総務担当理事

口頭で伝える場合もございますし、職員間のメールでの共有や、課長会議等、必要に応じて記録等の文書も作ってそれを共有し、必要な課、関係機関に情報共有しながら対処してまいりたいと考えております。

議員

各課の管理者が、発生したトラブルについては把握できる状況・仕組みになっているという理解でよろしいでしょうか。

総務担当理事

課内での情報共有は、当然上司への報告というのも入っております。

議員

トラブルが発生した場合に調査を行ったりと、なぜ起こったのかというところの

原因・分析というようなことが必要になってくるかと思うのですが、そのような調査・分析するようなチームといいますか、仕組みといますか、そのようなものは出来ているのでしょうか。

総務担当理事

大きな枠組みとしてはありますけれども、具体的に個別にPDCAサイクルののってやっていくというようなマネージメント管理的なものまでは、まだ構築していないという状況でございます。

議員

例えば、影響の大きくなりそうなトラブルであるとか、何回も繰り返すというようなことに関しては、調査や分析が必要ではないかと思いたす

総務担当理事

積み重ねが大きな失敗に繋がるといってございませうので、そのへんについては課内で、どういう失敗事例があるのかということと共有しながら、失敗をなくすために、どういうふう

議員

トラブルの調査・分析をして、対策を立案されましたら、各課の職場などで周知を行っていくと思うのですが、これはどのような方法でされているのでしょうか。

総務担当理事

会議の場、課長会議の場であるとか、そういったところで情報共有を図っていくという状況でございます。

議員

対策を立てても、共有できないければ実行に結びかれないと思いますので、いろいろな方法で皆さんの耳にまで届くような方法で、対策の周知というのをさせていただきたいと思えます。

また同じ事象であっても捉え方によって対応が変わります。トラブルになったかもしれないという状況をすくいあげられるかということがトラブルを防止していくための一つのポイントでもあると思います。トラブルに繋がります。状況を発見、把握するような取り組みをお願いしたいと思いたす。

総務担当理事

リスクマネジメント管理と

か、そういったのを今後勉強させていってほしいですね、きちっとした枠組みの中で最終的にいろいろと評価をしていくということも大事だと思いますので、そのへんについてはしっかりと勉強してまいりたいというふうに考えております。

議員

誰もがトラブルのきっかけになる可能性があるからこそ、ハード面、ソフト面、環境面など多面的な検討と対策が必要だと思います。

普段からトラブルに繋がったり、そうなる事象、出来事をうまくすくいあげて把握して、トラブルの発生を予防するのと同時に、もしトラブルが発生したとしても、素早い対処で影響が最小になるよう普段からの取り組みを進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。



平野美津子 議員

・町政の情報公開について

町政の情報公開

議員

1年間の空白がありました。が、復帰させていただき、住民の皆さまと、本当にこの紀宝町に住みやすい良い町になるために頑張りたいと思います。

最初の質問からさせていただきます。町長の政治姿勢についてですが、まず、住民に対する町政の情報公開についてですが、住民と協働して、良い町づくりをするために

は、十分な情報提供が必要だと思えます。例えば、新宮紀宝道路のルート設定や、そしていろいろなこと、例えば財政のことにつきまして、住民の方が何か疑義を感じても、その状況がよくわからないので十分な財政のことを理解できるような資料とか、そういうものが必要なのではないかなと思いますし、道路工事等の公共事業にいたしましても、その近辺の方だけじゃなくて、住民全体にわたって、その説明が理解できるような説明資料とか、そういうものが必要じゃないかなと思っておりますが、そのへんのお考えをお聞かせください。

政策担当理事

先ほど、新宮紀宝道路という特定した言葉について発言をされましたので、そのことについてまず申し述べます。

我々は住民の皆様の立場に立ちまして、真摯に業務を行っております。その結果ですね、必要な情報を必要な時に住民さん、イコール議会の皆さまにご報告する必要があります。時に、議会で開催されます各種委員会において、我々は速

やかに報告をさせていただいております。

議員

続きまして、情報公開、今後はいろんなことについて、やはり住民と一緒に何かを取り組もうとしたときは、情報がきちんと届いていない時には、やはり難しいこともいっぱい起こってくると思うし、これから住民さんの皆さんと、いろんな協力もしてもらいながらボランティア等々ともやっていただかないといけない。防災の件にしましては、住民さんが本場にきちんと参加してもらわないと、それは不可能ではないかなと思っております。

そういう観点から例えば、行政側がちょうどいい時期と思われても、例えば、新宮紀宝道路の件についても今までずっと継続されてきた状況を住民が知らなかったと。突然ルートが決まったと、工事だから来ましたというところから説明を受けた時、すごくびっくりして、それからのいろんな運動に繋がっていったと思うんです。ですから、その経過についてもきちんと、この住民さんに知らせていくと

いうことはすごく大切だと思うし、まだ遅れて工事化されたところでも、その決まるまでに、きちんと住民さんとの話しが通じていけば、工事も始まってどんどん工事が進んでいくというようなところもあると思うんです。

ですから安心して、住民さんが安心してできるような情報の出し方、例えば町側としては適切な時期だと思われるかもしれませんが、もしも、その工事前でも情報はあるはずですし、例えば町長はそれまで知らなかったとおっしゃって、ですけど、国交省との話し合いでは強い紀宝町からの要望で、あのルートが決まったのだとおっしゃっています。だからその噛みあわせが全然ないんですね。国交省はそういうに、紀宝町は国交省が決められたから、それまでは知らなかったと。そういうのは住民は安心して、町の言うことをちゃんと把握することができないような状態になっております。

今、新宮紀宝道路につきましては、工事も始まっており

ます。住民も国民が主人公であるという日本国憲法に基づいて考えますと、工事が始まったから強制収用されるわけじゃないと。そのように信じております。

政策担当理事

先ほど情報を住民様にお知らせをするというお話のなかで、我々は知り得た情報につきましては、速やかに皆さまにお伝えしお知らせをしております。また、そのように心掛けております。議員がおっしゃられるように、意識的に操作をするというようなことはありえませんので、そのへんにつきましてはよろしくお願ひいたします。

河口大橋の強い要望があったというお話ですが、まさに我々官民一体となって、長年河口部に橋を架けていたいただきたいという強い要望を国、県、関係機関にお願ひをしております。それは間違ひございません。

産業基盤整備担当理事

ルート選定について、ご指摘がありました。これまでいろいろな議員さんから、新宮紀宝道路のルート

について、事業化される前にもいろいろと質問をお受けしたわけでありませんが、ルート詳細につきましては事業化、そして国土交通省の発表までは一切明かされないということ、それは地元住民の皆さまが一喜一憂するような、不確かな情報をどんどん出していくわけにはいかないという考えのもと、そういう風になってきているわけです。

今後の紀宝熊野道路にしましても中心線がきちっと決まってくるまでは、町に対してもそうですし、住民の皆さまにも公表できる資料というのは出てこないということでありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

議員

やはり必要な情報はどんどん開示していただく、またホームページでも、それから広報でもやっていただくと、もっと皆さんが安心して暮らしていけるんじゃないかなと思います。

□本会議の傍聴をしてみませんか。



本会議では、町民の皆様の生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされています。町政への理解を深めていただくためにも、皆様の傍聴をお待ちしております。

■本会議の傍聴

本会議の議事の公開の原則により、会議中どなたでも傍聴できます。

■傍聴の手続き

- 1：役場本庁舎3階の議会事務局で受付を行ってください。
先着順により受け付けています。傍聴席は40席ございます。
- 2：議場の入退室は、会議中でも自由にできます。

■ご注意

言論に対して拍手、その他の方法により可否を表明しないでください。飲食または喫煙をしないでください。携帯電話の電源はお切りください。写真、ビデオで撮影したり、録音しないでください。

●お問い合わせは紀宝町議会事務局まで（☎0735-33-0342）

■次回定例会の予定

6月18日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

■議会生中継について

公共施設5か所のロビー等において、町議会本会議の様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

■インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、「紀宝町ホームページ」↓「議会情報」↓「紀宝町議会インターネット録画中継」をクリック

可決された議案（3月）

- 教育委員会委員の任命について
- 紀宝町森林環境基金条例の制定について
- 紀宝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 紀宝町職員の給与に関する条例の一部改正について
- 紀宝町個人情報保護条例の一部改正について
- 紀宝町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 紀宝町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 工事請負契約の変更（紀宝町新防災情報システム整備工事）について
- 工事請負契約の変更（社会資本整備総合交付金事業 町道惣田川瀬線改良工事）について
- 平成30年度一般会計補正予算（第4号）
- 平成30年度特別会計補正予算（4会計）
- 平成31年度一般会計予算
- 平成31年度特別会計予算（6会計）
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

意見書（3月）

- 妊婦が安心してできる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書

編集後記

1月22日告示の紀宝町議会議員選挙において13名の議員が選出されました。無投票での当選ということもあり、最初の臨時議会において「議会議員定数及び報酬調査特別委員会」の設置が全会一致で可決され、今後、定数及び報酬について議論が深められる事になります。平成最後の年である平成31年3月29日に国土交通省より、紀伊半島一周高速道路の全線事業化が発表されました。命の道として全線の早期完成を大いに期待するところです。また5月1日から、新しい元号「令和」となりました。この令和は、万葉集にある『初春の令月にして 気淑く風和らぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す』から引用したもので、日本古典に由来する元号は史上初めてであるそうです。

令和という新しい時代を迎えるにあたり、より一層、町民の皆様への幸福のため、町議会としても全力を尽くしてまいります。

「議会だより」（48号）

編集委員

榎本 健治

平野 美津子

向井 健雅

（文責 榎本）